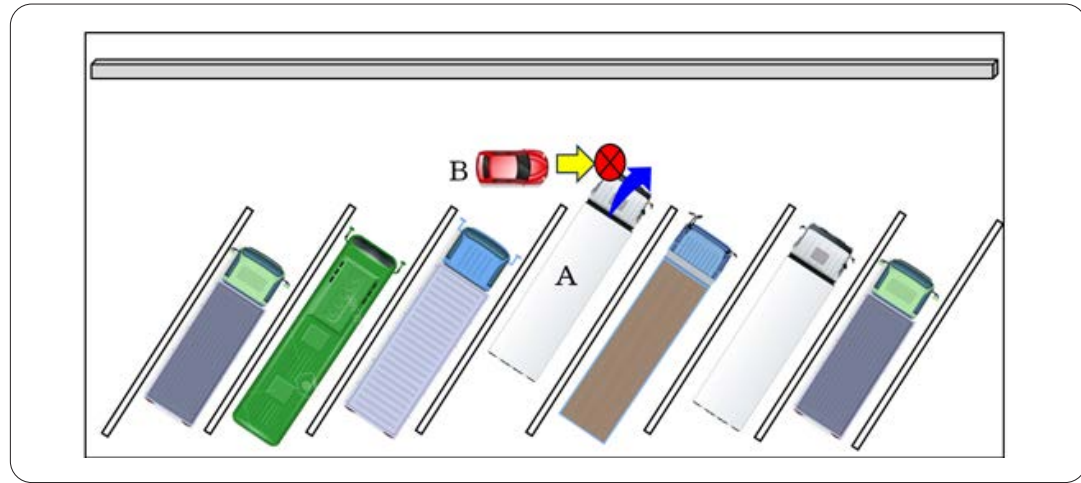


# 職場における交通安全指導

Part 140

【パーキングエリアの駐車枠からの発進時に、走行してきた車両に衝突



## ■事故の概要

- 事故の当事者  
当事者A（大型貨物車）：40歳代、男性  
当事者B（普通乗用車）：50歳代、男性
- 被害状況  
A：車両左前部凹損  
B：車両右前部凹損
- 道路状況  
高速道路のパーキングエリア

## 事故状況

Aは大型貨物車に15年の乗務経験があるドライバーで、長距離輸送を担当している。

事故当日は、早朝から雑貨を積み込み、高速道路を使用し取引のある遠方の倉庫への配送業務を行っていた。

早朝からの勤務で若干眠気を感じていたAは、途中のパーキングエリアで仮眠をとることにした。

しかし、連日の長距離輸送の業務で蓄積された疲労が抜け切っておらず、目が覚めた時には予定していた出発時間を大幅に過ぎてしまっていた。

Aは目的地への到着時間に間に合わずとも、遅れを取り戻すために一刻も早く出発したいという気持ちから、急いでトラックを発進させたところ、左から走行してきたBと接触した。

## 事故の原因

事故の原因は、出発が遅れ焦る気持ちから、安全確認を疎かにして急いでトラックを発進させてしまったことです。

## 安全指導

パーキングエリア内での事故は、他の車両だけでなく、歩行者を巻き込んでしまう恐れがあり特に注意が必要です。

今回のような事故を防止するために次の点に注意しましょう。

### ①安全確認を徹底する

Aは急いで発進したことで安全確認が疎かになり事故に至ってしまいました。

運転者にとって安全確認は欠かせません。発進時は周囲の安全確認を徹底する必要があります。

大型貨物車は死角が多く存在します。また、他の車両や建物の陰など周囲にも死角が存在することを認識する必要があります。

「見えないことは存在しないことではない」ということを念頭に置き、死角部分に潜む危険を見落とさないよう安全確認を徹底し、常に危険を予測した運転が必要です。

### ②焦りや急ぎの心理に注意する

Aの場合、寝坊をしたことで出発時間が遅れ、急いで行動してしまった事が事故原因の一つとなったと考えられます。

安全に運転するためには、無理のない運行計画や、荷扱いの所要時間、休憩場所の確認など、事前準備をしっかり行い、時間や気持ちに余裕を持ち、焦りや急ぎの要因を作らないことが大切です。また、途中遅くなりそうな時は、急ぎの運転で遅れを取り戻すのではなく、会社に連絡し運行管理者等の指示を仰ぎ、安全運行に努めましょう。

### ③過労に注意する

長時間・長距離の運転や夜間・早朝の乗務をしていると生活リズムが狂い疲労が蓄積され、眠気に襲われやすくなります。

一般的に睡眠時間が5時間を下回ると睡眠不足となり、十分に疲労が抜けず注意力も散漫になると言われています。

過労を防止するためにも睡眠をしっかり取り、身体を休めることができるように、十分な自己管理を心掛けていくことが大切です。

### ④自分の運転性格を理解する

焦りや急ぎの心理にならない様にするためには、自分の性格を理解することが大切です。

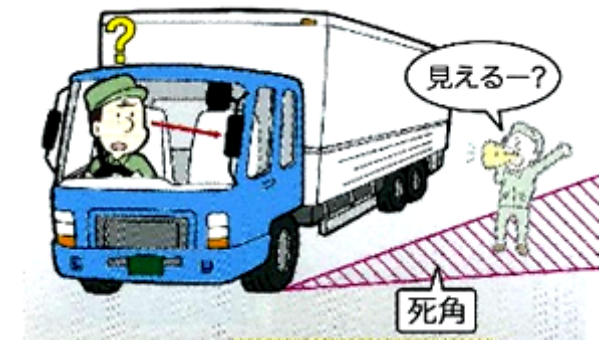
運転にはドライバーの性格が表れます。せっかちな人やイライラしやすい人は焦りや急ぎの心理に陥りやすいので注意が必要です。

性格は簡単には変えることは困難と言われています。特別適性診断の結果等を活用し、自分の性格を理解しておきましょう。

### ⑤コメンタリー運転の実践

今回は、急がず確実に周囲の確認ができていれば防ぐことができた事故です。

「左よし」「右よし」「前方よし」などと積極的に声を出し、コメンタリー運転を実践し、危険の早期発見に努めよう。



交通事故防止動画 YouTubeにて公開中!

ドライバーの交通事故防止の教育・指導にご活用ください。

#### 1. 知っておこう! ~トラックの特性に応じたポイント~

スマホで読み込み!



#### 2. STOP! 交通弱者事故

スマホで読み込み!

